

## 令和4年度 講演会 終了報告

潜在能力開発研究所では、学生、教職員、地域が有する潜在能力の開発を目的とし、高い専門性をもつ講師による講演会を開催しています。

今年度の講演会は、おおしま小児アレルギー科院長の大島美穂子先生を講師にお招きし、『食物アレルギー～食物アレルギーの基礎知識から最新情報～』のテーマで、11月9日に開催しました。

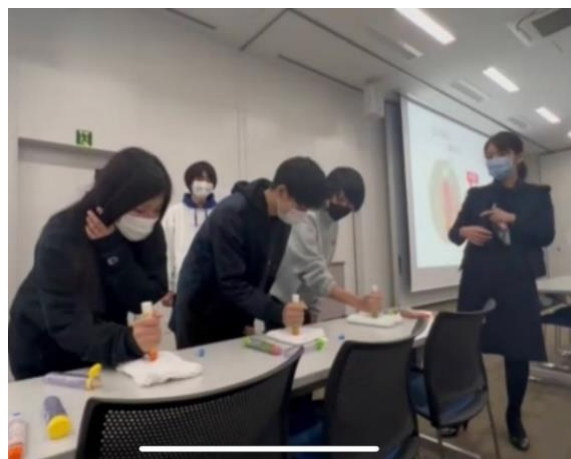
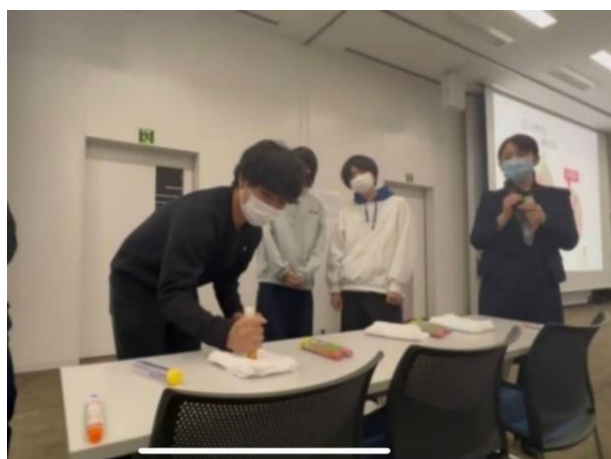
当日は、教職員、こどもの生活学科、管理栄養士学科、幼児教育学科、食物栄養学科の学生、地域の方を合わせ、116名が参加しました。

講演内容はアレルギー反応のメカニズム、食物アレルギーの診断方法、学校給食(豊田市)の1回分に含まれるアレルゲンの量、アレルギー食品を除去した場合の栄養価の問題点、交差反応、保育園でのアレルギー対応などで、保育士や栄養士を目指す学生にとっては、知っておくべき重要な内容ばかりでした。特に交差反応については、意外な食品の組み合わせの摂取によって引き起こされるアレルギー反応に驚かされました。講演の最後には、エピペン注射の実演もあり、貴重な体験となりました。

参加した学生達には、本講演で得られた知識や体験をもとに、保育園や小学校などの職場における食物アレルギーへの対応や給食の献立作成などに活かしてもらいたいと思います。



大島先生の講演の様子



大島先生の指導のもと、エピペン注射を試し打ちするこどもの生活学科の学生